

今月の トピックス

棟上行程までプレカット工場で 新宮木造住宅協同組合

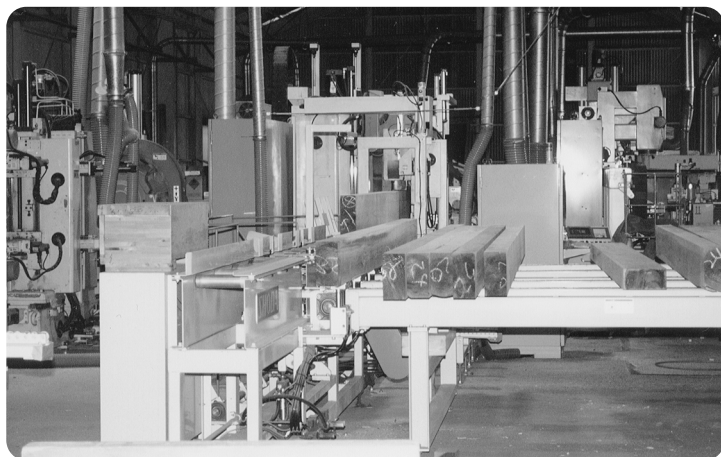
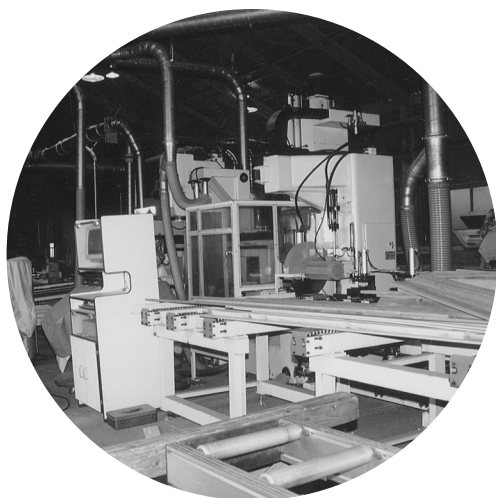
これまで大工さんが手作業で製作していた住宅の構造材（骨組み部分）を、C A Dシステムで工場生産するのがプレカット。

「棟上げ」までの行程を機械化してしまうわけですから、短い工期で済み、しかもローコストで加工精度も驚異的に優れるという、これからの住宅建築ニーズを喚起する加工技術と言えます。

当組合のプレカット事業は、設備面でも画期的で、ノボリ梁や太鼓梁などの今まで人手に頼るしかなかった曲線部、いわゆる曲がり加工や傾斜加工が出来てしまいます。設備メーカーによれば、国内初の導入であるとか。

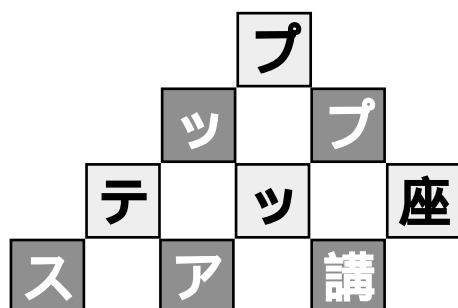
ライン上で出来るプレカットの領域が拡がり、更に戦略的になったといえます。

新宮地域の木材資源を建築材としてもっと使ってもらおうという気概が、プレカット事業の具体化に結びついた、まさに地域に密着した活性化策の賜物です。



新宮木造住宅協同組合
T E L 0735 - 21 - 2161

e - ビジネスの



ターゲット層を明確に絞り込む

例えば「和歌山市内にあるレストランがホームページを作成してお店の宣伝(メニューや季節ごとの特別メニュー、イベントのお知らせ、お店のおすすめやこだわり等)をしたい」と考えたとします。その場合のターゲット層は「和歌山市近隣に在住の方」です。まさか北海道や沖縄の方が、そのホームページを見てわざわざ和歌山まで召し上がりに来られるとは思えません。ダイレクトメールや折り込み広告のように、こちらから送る広告物はその対象を選ぶことが出来ます。ところが、ホームページはあくまでも「見に来ていただくもの」である為、対象を絞りにくいのが現状です。あるいは「自然の成分だけを使った肌にやさしいお化粧品をインターネット通販したい」と考えた場

合、そのターゲット層は「お化粧水の成分にこだわりのある女性」です。男性よりは女性にホームページを見てもらえるようにする必要があります。そのお化粧水の開発コンセプトを考えれば「30歳代～50歳代」「目もとの小じわが気になる方」等々もっともって絞り込む必要があるのかもしれませんが。想定したターゲット層が見に来てくれるような仕掛けを作ること。これがe-ビジネスを考える上で非常に重要なキーとなるのです。

バーチャル和歌山の3つの基本軸



情報 & アミューズメント

集客

コミュニティー
(双方向コミュニケーション)

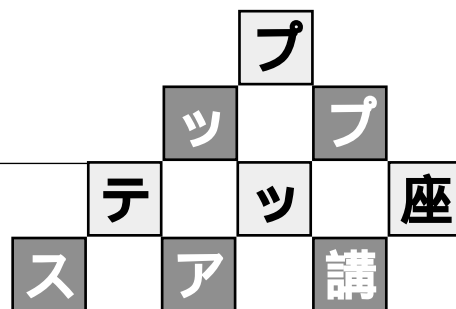
定着

サイバーモール & CRM

ビジネス展開

基礎知識

中小企業診断士 和田 祐一



バーチャル和歌山を活用しよう

和歌山県を中心に事業を営んでいる場合、お客様のターゲット層は和歌山県内の在住者であることが多いと思います。当然、和歌山県内の在住者、あるいは和歌山県にゆかりのある方々を中心にして情報発信をしていく必要があると思います。

ところでバーチャル和歌山（代表取締役社長 北野 榮三、<http://wiwi.co.jp/>）というコミュニティーサイトを御存知でしょうか？これは和歌山に関連する様々な情報を集めた、和歌山県とゆかりのある方々のための総合情報発信サイトです。会員数は約35,000人、月間のアクセスビューは800,000～1,000,000にもなります。バーチャル和歌山では次のようなコンセプトで主に3つのコンテンツを提供しています。

1. 情報&アミューズメント

情報&アミューズメントでは、和歌山の情報を知りたいという人に対して、「物産チャンネル」「観光チャンネル」「地域チャンネル」「生活チャンネル」「メディアチャンネル」等で様々な角度から和歌山の情報を発信しています。利用者は知りたい和歌山の情報を簡単に調べることが出来ます。これらの情報を求めてくる層は当然「和歌山に何らかの関連のある方々」となります。つまりインターネット上で様々な情報検索をする人達の中から「和歌山に何らかの関連のある方々」を選別することができるのです。

2. コミュニティー（双方向コミュニケーション）

バーチャル和歌山では一方的に情報を配信するだけではありません。「バーチャルTOWN」というものが設置されており、集まった人々が共通のテーマに沿って自由に情報のやりとりを行なうことが出来ます。メールやチャット（文字通信でリアルタイムに会話が出来る）、フォーラム等が活発に賑わっており、定着率を高めています。

3. サイバーモール&CRM

バーチャル和歌山には「わいわい市場」というインターネットショッピングモールも設置されています。和歌山に興味のある方々が集まるサイトですので、当然、和歌山ゆかりの特徴ある商品にはアクセスも多く、人気商品となっています。現在約400店舗の出店があります。

CRMとはCustomer Relationship Managementの略で「顧客との関連性のマーケティング」をさします。バーチャル和歌山は会員制のサイトですので顧客の属性（年齢・性別・住所地・趣味等々）をバーチャル和歌山側では把握しています。またその人の購買履歴等もデータとして残っています。目的に合わせた的確な層にマーケティング活動を行っていくことも可能です。

このように、バーチャル和歌山を活用する事で企業や組合単体で運営するホームページでは実現できない強力なメリットを得ることが出来ます。

マーケットリサーチにもバーチャル和歌山を活用しよう

新商品の開発、仕入商品の選別、立地場所の選別、販売ターゲットの設定等々、企業経営にマーケティングリサーチはかせません。需要の多様化、ライフスタイルの個性化が顕著になり、市場が成熟した今日においては、市場の声を聞かないマーケティングなど効果があがるはずありません。

ところで、このマーケティングリサーチは結構な手間とコストがかかります。マーケティングリサーチを行なう際には一般にアンケート調査を行ないますが、無差別にアンケート用紙を郵送してみても、レスポンス率は非常に低く、それなりにサンプルを集めようと思えば膨大な数のアンケート用紙を郵送しなければなりません。また、返信用の封筒や切手等を添えておかないとレスポンス率はもっと低くなり、そのアンケートに協力するメリット(例えば抽選で景品が当たったりする)がなければ、さらにレスポンス率は下がってしまいます。そうして、苦勞して集めたサンプルを分析してみると、男性の意見が欲しかったのに女性の返信が多かったり、若年層の意見が欲しかったのに高齢者層の返信が多かったりと、的外れな結果に終わってしまうこともしばしばあります。

このような時にもバーチャル和歌山のマーケティングリサーチ・サービスを活用すれば非常に正確でスピーディーかつ低コストで行なうことができます。

バーチャル和歌山には「わいわい研究所」というものも設置されています。ここでは各企業からバーチャル和歌山の住人へのアンケート調査が行なわれています。また、新しいアンケート調査が入った場合には、定期的にバーチャル和歌山の住人に対して送信されているメールマガジンにてそのお知らせが行なわれます。アンケート調査をあらかじめ「男性」や「女性」、「○○歳以上～」等と設定す

ることで、目的に添ったアンケート調査を行なうことが可能です。しかも短期間に多数のアンケートを収集、分析することが可能です。アンケート結果はバーチャル和歌山からCSV形式(一般的な表計算ソフトで使われているファイル形式)で受け取ることが出来るのでパソコン等を使って簡単に分析を行なうことも出来ます。料金も非常にリーズナブルで、場合によっては一人あたりの調査コストが切手代よりも安くなります。

みなさまのビジネスにも是非、バーチャル和歌山を活用されてみてはいかがでしょうか？

今回は、集客の為の工夫、集客を購入につなげる工夫について述べさせていただきます。

11月は連携組織強化月間

活かそう！ 組織の力・組織の知恵

中央会は、組合等の
中小企業連携組織の支援を行っています。

㊤ 全国中小企業団体中央会・都道府県中小企業団体中央会
<http://www.chuokai.or.jp/>

中小企業組織の設立・運営についてのご相談は最寄りの和歌山県中央会へお問い合わせ下さい。

借換資金新設のご案内

厳しい経営環境下における中小企業者の資金繰りを支援するため、既往借入金に係る月々の返済負担の軽減とともに、必要に応じ新たな運転資金の調達を可能とする「資金繰り円滑化特別融資」を創設しました。

資金名

資金繰り円滑化特別支援資金

利用できる方

次の1から3のすべてに該当する方

1. 融資申込時点において、和歌山県中小企業融資制度に係る借入金残高で、平成15年9月30日までに信用保証協会の保証付きで融資実行された1年以内の短期資金を除いた借入金に係る残高のある方
2. この資金を利用することにより、月々の返済負担を軽減できる方
3. 資金繰りの円滑化並びに経営の安定・改善に向けた適切な事業計画を有しており、この資金の融資期間内で完済が十分見込まれる方

資金用途

県制度融資に係る既往借入金の返済資金(借換資金)と運転資金(新規資金)

利用限度額

8,000万円

利用期間

8年以内の割賦償還(据置なし)

融資利率

年1.9%(固定金利) この他に信用保証料(年0.7%~1.05%)が必要です。

申込先

県制度の取扱金融機関(県内に本支店のある金融機関)

受付期間

平成15年10月1日~平成16年3月31日

問い合わせ先

県庁商工労働総務課(電話番号 073-441-2762)

(注) この融資は信用保証付きであるため、信用保証協会に保証残高があれば融資限度額に制約がある場合があります。融資額については金融機関が、また、保証額については信用保証協会が資金用途、業績、財務内容、資産等を総合的に判断し決定します。ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。

資金繰り円滑化特別支援資金を利用すれば

返済月額の軽減

この資金を利用して、毎月の返済負担を軽減しよう

県制度融資の借入金 2口 6,000万円利用

一般貸付資金 3,000万円(残高2,000万円) 返済額 月41万円

不況対策特別資金 3,000万円(残高1,800万円) 返済額 月35万円

合計 月76万円

県制度融資の借入金 1口 3,800万円利用

資金繰り円滑化特別支援資金 3,800万円

返済額 月40万円

負担軽減 36万円

返済月額を軽減し、更に、資金調達

この資金を利用して、毎月の返済額を増やさずに新規資金を調達しよう

県制度融資の借入金 2口 6,000万円利用

一般貸付資金 3,000万円(残高2,000万円) 返済額 月41万円

不況対策特別資金 3,000万円(残高1,800万円) 返済額 月35万円

合計 月76万円

県制度融資の借入金 1口 5,000万円利用

資金繰り円滑化特別支援資金 返済分 3,800万円 新規分 1,200万円

返済額 月52万円

負担軽減 24万円

新規資金 1,200万円

(注) 上記は例示であるため、具体的な返済事例を示すものではありません、中には、このとおりにならない場合もあります。



情報連絡員 スポットライト



和歌山ニット商工業協同組合
副理事長
南方 淳一 氏

～組合プロフィール～

明治42年スイスより輸入された編機で当地の丸編メリヤス生地生産が始まり、大正8年には全国一の生産量を誇るまでに発展した。戦後の混乱期を乗り越え、昭和30年代より化学、合成繊維の発明によって「ジャージー」と呼ばれる新しいニット生地が開発され、それまでの肌着用生地に加えあらゆる分野にメリヤス生地が使用されるようになり、幾多の困難を経ながらも現在でも全国一の生産を維持している。

～業界近況について～

昭和60年頃から近隣アジア諸国で繊維産業が著しく発展し、繊維製品の輸入が増加しはじめ、文化大革命後の中国からはその安価な人件費を武器にした製品が洪水の如く入り国内繊維産業を圧迫し、今では国内流通市場の90%近くを占める迄になった。業界では今後の生き残りをかけてアジア諸国では作れない高品質、高機能製品の開発に全力で取り組み、欧米、アジアに輸出する動きが出てきている。

～組合PR～

国内繊維産業を取り巻く厳しい環境のなかで、組合員数も最盛期の半数近くに減少しているが、地場産業であるニット産業の発展のため、国と県のご支援を受けて新商品の開発と新市場の開拓に一丸となって取り組んでいます。新たな需要を探り国内市場の掘り起こしと、輸出振興を目指し国内展示会を開催し、海外展示会へ積極的に出展参加して幅広い需要開拓を目指しています。

～ご自身の日常について～

学卒後家業のニット製造業に40年近く従事しましたが、やはり還暦を過ぎると身体のあちこちに故障がでてきます。慢性的な腰痛に悩まされていますが、それとも上手に付き合いながら出来るだけゴルフなどで身体を動かすことに努力し、日々感謝の気持ちをもって大切に過ごしています。



和歌山県建具事業協同組合
事務局長
片山 定三 氏

～組合プロフィール～

当組合は昭和25年に設立されました。その後経済社会の著しい変革により業界も幾多の試練に見舞われましたがその都度組合員各位が奮起し「木の国心と技の和歌山建具」をモットーに明るく豊かな住環境造りを目標にして現在に至っております。

～業界近況について～

長引く不況の中住宅着工数は、全国及び和歌山県共に低水準レベルでの昇降状態に有り住宅需要は低調なまま横這いで推移している。又廃材の処理やシックハウス対策制度等により各企業の経費負担も高まる傾向に有る。

～組合PR～

当組合が取り組んでいる行事のひとつに毎年県外に於いて建具の展示会「わかやま建具フェア」を開催しております。（国際木工機械展や国際見本市等に併設開催を通じて全国にPRしています）一大のイベントとして伝統と技術を継承する建具産地和歌山の製品を広くPRしております。

～ご自身の日常について～

健康法としてストレスを残さない様心身のリフレッシュに心掛けております。又適度な運動として草野球チームに入り若者といっしょに楽しんでいます。

講演会・交流会のごあんない

組合相互の連携を深めるため、また組合員同士の交流の場として、講演会・交流会を開催いたします。

第一部 「新人類シニア市場の攻略法」

講師 (株)DBC 代表取締役 佐藤忠孝氏

プロフィール
1958年生 関西大学商学部卒
シニア会員組織「おせわ倶楽部」を設立。
2万人におよぶシニア会員の情報をデータベース化しており、シニア市場でのビジネス成功のためのサポートを行う。
JR東日本ジパング倶楽部「大人の休日コンシェルジュ」のプロデュースを手掛ける。

第二部 中小企業庁次長 松井英生氏による講演

第三部 午後5時30分より、交流会を開催いたします (会費6,000円)

と き 平成15年11月27日(木)
第一部 午後2時15分～ (葵の間)
第二部 午後4時～ (")
第三部 午後5時30分～ (黒潮の間)

ところ ホテルグランヴィア和歌山
和歌山市友田町5丁目18番地 電話073-425-3333

参加ご希望の方は、下記申込書によりFAXにてお申し込みください。

参 加 申 込 書

会費については、講習会のみの方は無料
交流会に参加される方は 6,000円 になります。

組合名 _____

参加者氏名(○をおつけ下さい)

氏 名	講 演 会	交 流 会
	出 席	出 席
	出 席	出 席
	出 席	出 席

宛先 FAX 073-431-4108 (担当 支援二課 杉本)

皆様方のご参加をお持ちしております

中央会だより

～ 中央会に対するニーズ調査の結果報告 ～

この度、中央会では組合等に対する中央会の支援体制を考える上での参考と致したくアンケート調査を実施しました。

集計結果がまとまりましたのでご報告いたします。

発送334組合、回収177組合、回収率52.9%です。

● 組合の概要についてお伺いします。

資格業種について、一番多いのが製造業49（28%）、次いでサービス業46（26%）、小売業44（25%）、建設業23（13%）、卸売業17（10%）、運輸業8（5%）、異業種4（2%）となっております。

事務局の有無について、有りが、139（79%）、無しが27（15%）、回答無し11となっております。

（図1-1、1-2）

図1-1・資格業種

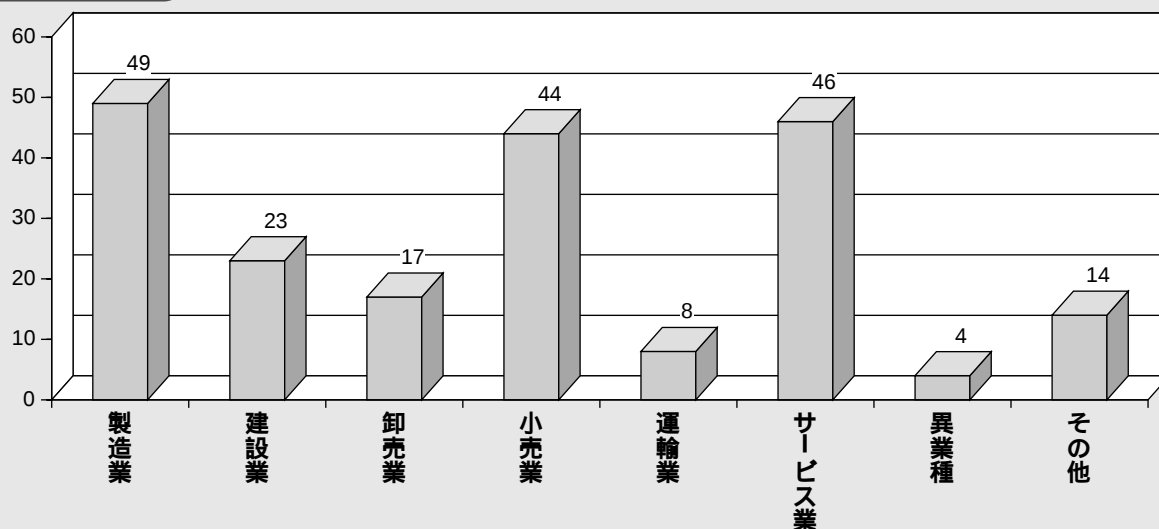
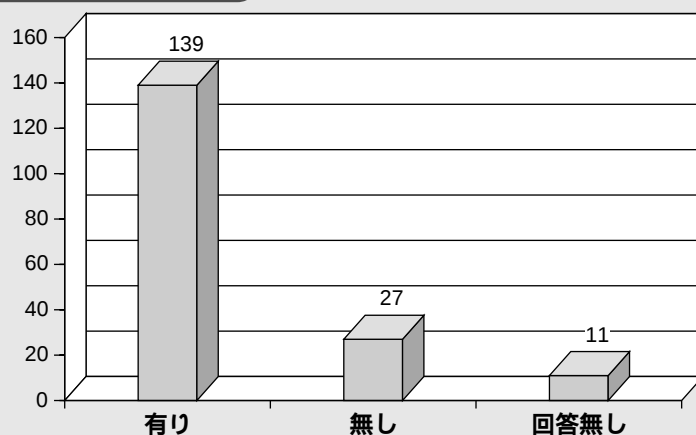


図1-2・事務局の有無



● 中央会の実施している各種事業をご存知ですか？

組合指導につきまして、巡回指導を知っている組合は111（63％）、窓口相談につきましては、112（63％）となっております。

一般事業につきましては、一番多いのが「中央会わかやま」情報誌の発行136（77％）、次いで各種講習会・交流会の開催が103（58％）、組合員研修会・懇談会の開催98（55％）、パソコン研修、税理士・弁護士による相談事項、業態実態調査の順となっております。

補助事業につきましては、ホームページの作成が98（55％）、活路開拓事業61（34％）、組合自主研修56（32％）、マーケティング調査事業、組合研究集会の順となっています。（図2 - 1、2 - 2）

図2 - 1 ・ 一般事業

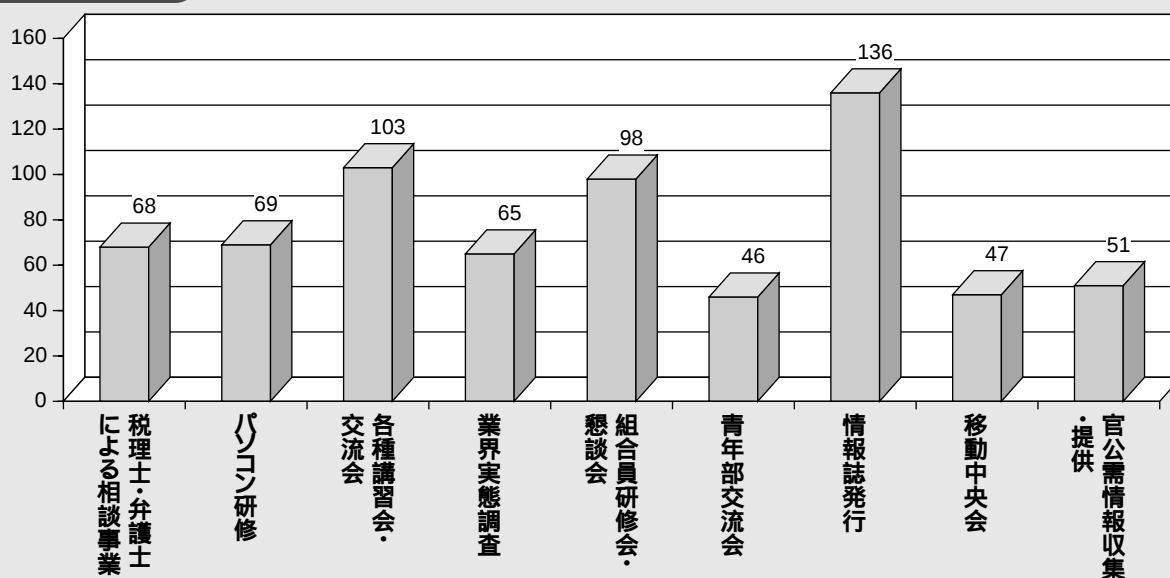
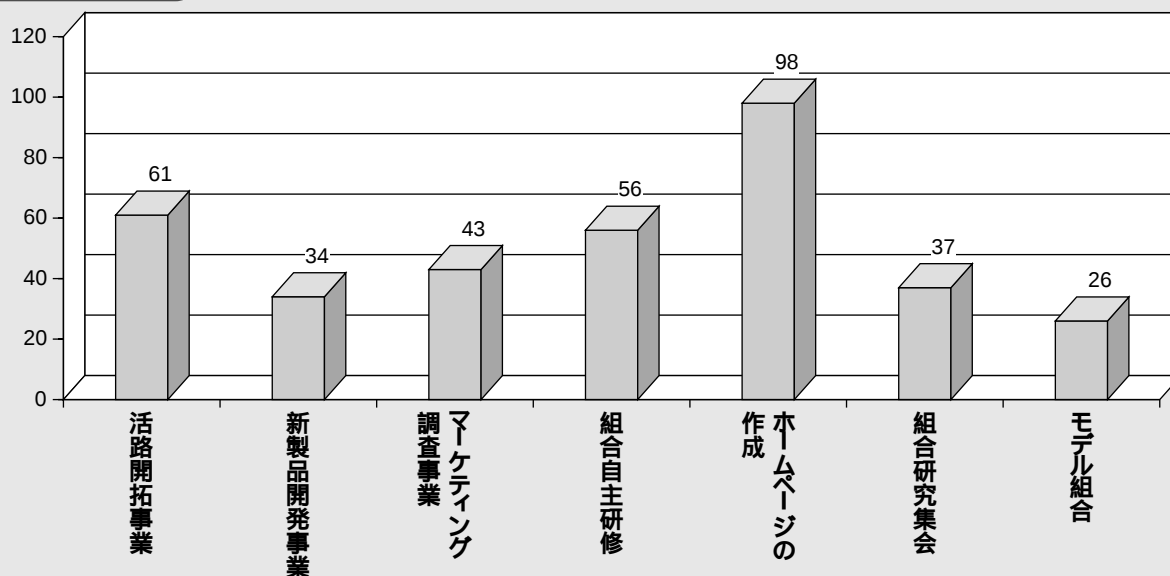


図2 - 2 ・ 補助事業



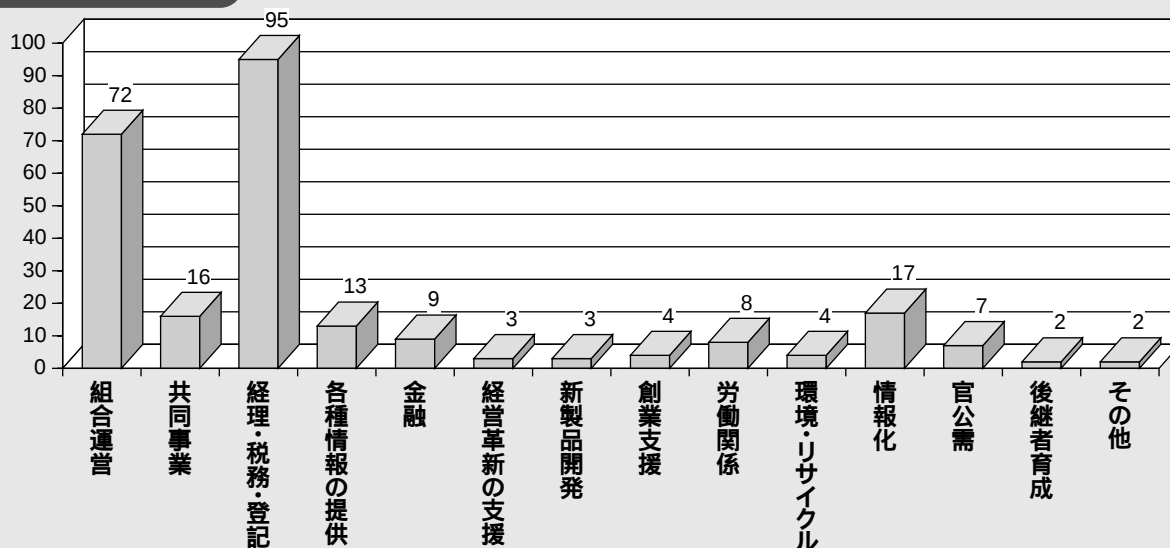
中央会だより

- 中央会では巡回・窓口相談を通して組合支援を行っています。支援を受けたことがありますか。

あると回答いただいた組合は126（71％） ないが48（27％）となっております。

支援の内容ですが、一番多いのが経理・税務・登記が95（54％） 次いで組合運営が72（41％） 情報化17（10％） 共同事業、各種情報の提供となっております。（図3）

図3・組合支援の内容



- 中央会の事業・支援に満足していますか。

満足が49（28％） やや満足58（32％） 両方併せて107（60％）となっております。また、どちらとも言えないが58（33％） やや不満・不満併せて5（3％）となっております。

続いて、指導員に何を求めますか。知りたい情報の提供93（66％） 訪問回数の増加が23（17％） 能力の向上15（11％）となっております。（図4-1、4-2）

図4-1・中央会の事業・支援に満足

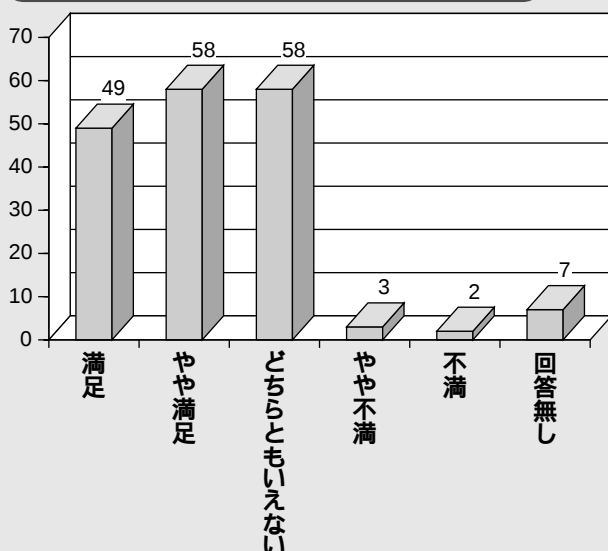
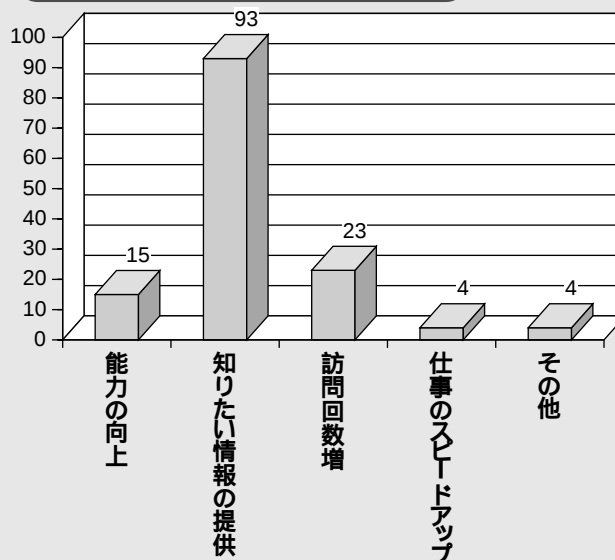


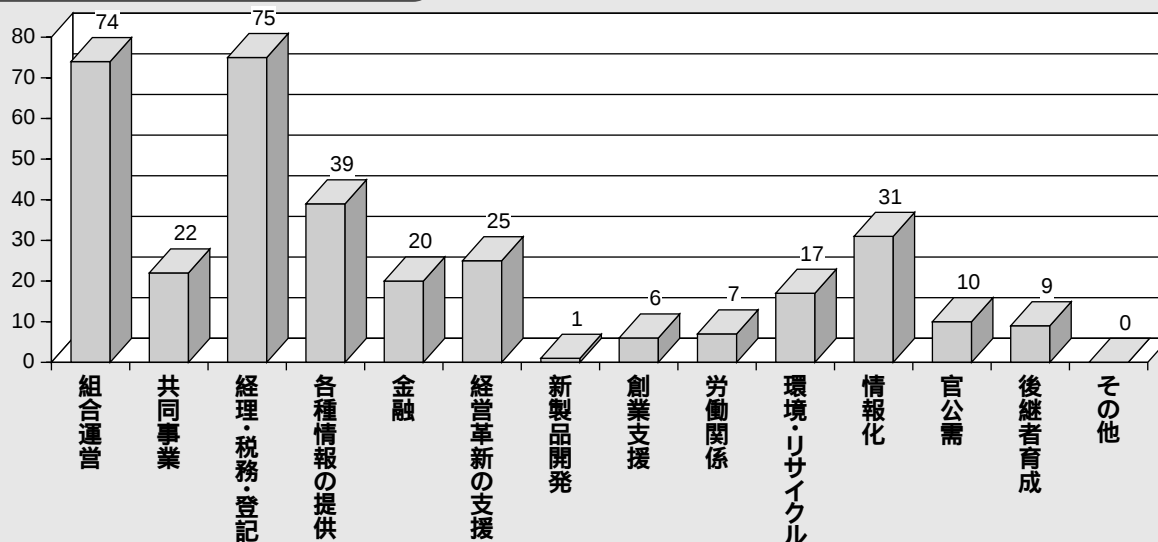
図4-2・指導員に求めるもの



- 今後どのような支援を受けたいですか。

経理・税務・登記が75（42％）、次いで組合運営が74（42％）、各種情報の提供39（22％）、情報化31（18％）、経営革新の支援25（14％）、共同事業22（12％）、金融が20（11％）、環境・リサイクル、情報化、官公需との順になっております。（図5）

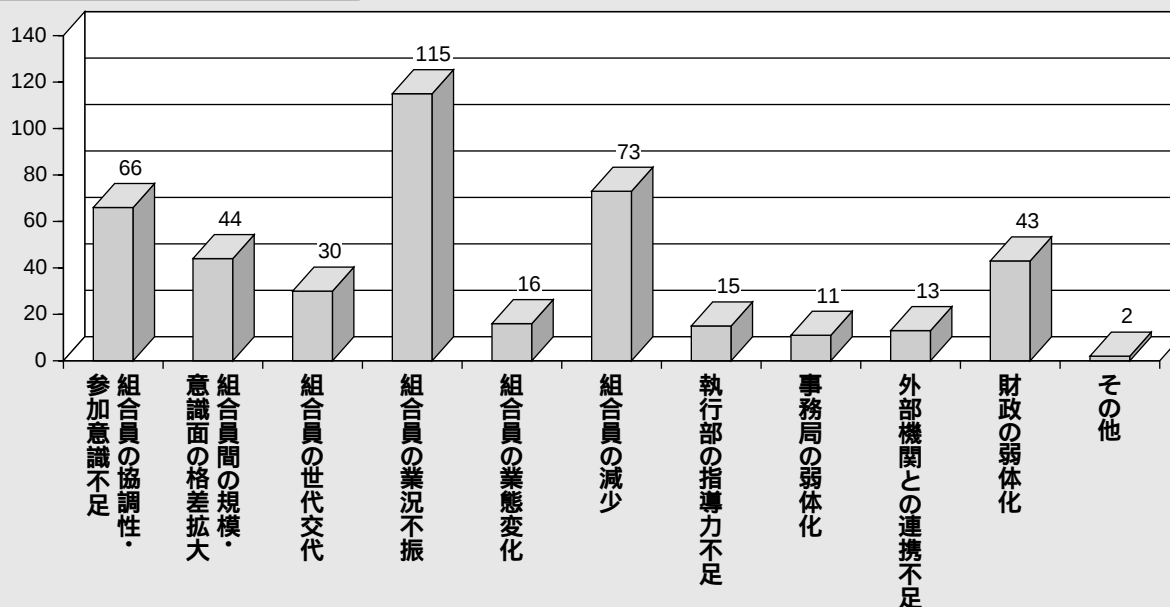
図5・どのような支援を受けたいですか



- 貴組合における運営面、事業面での問題点についてお伺いします。

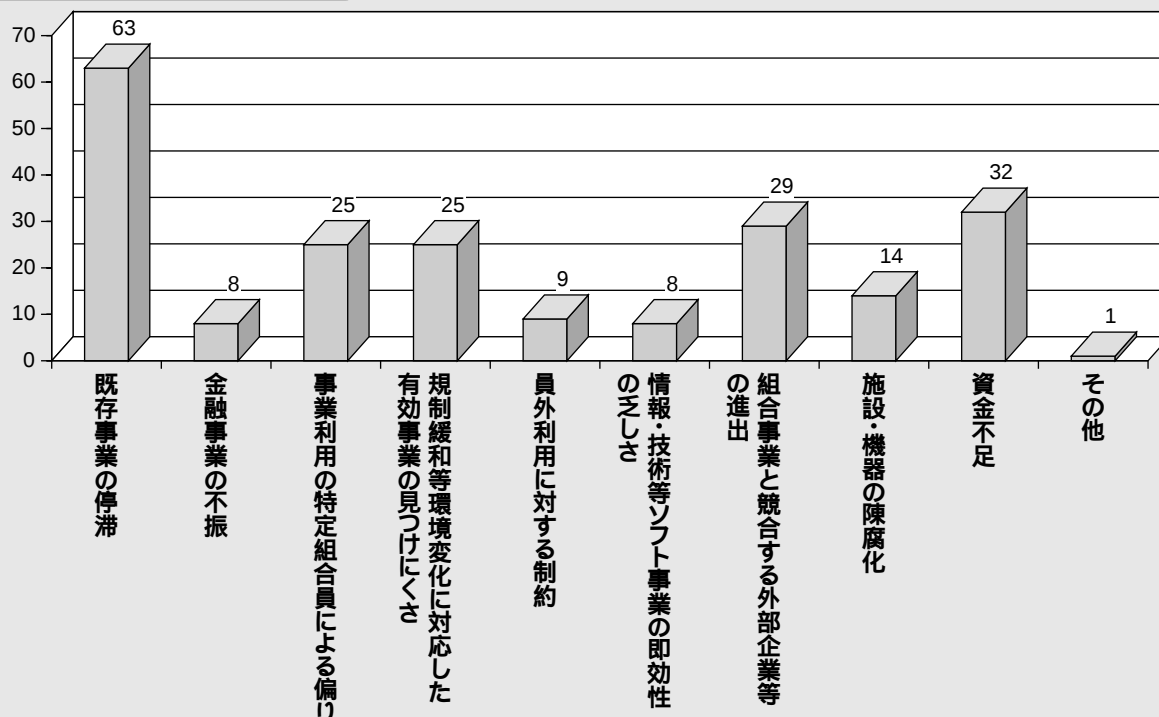
運営面における問題点で一番回答の多いのが、組合員の業況不振が115（65％）、次いで組合員の減少が73（41％）、組合員の協調性・参加意識の不足が66（37％）、組合員間の規模・意識面の格差拡大が44（25％）、財政の弱体化43（24％）、組合員の世代交代30（17％）となっております。（図6 - 1）

図6 - 1・運営面における問題点



事業面における問題点は、回答の多いのが既存事業の停滞（金融事業を除く）63（36％）、次いで資金不足が32（18％）、情報・技術等ソフト事業の即効性の乏しさ29（16％）、事業利用の特定組合員による偏り・規制緩和等環境変化に対応した有効事業の見つけにくさがそれぞれ25（14％）の順になっております。（図6-2）

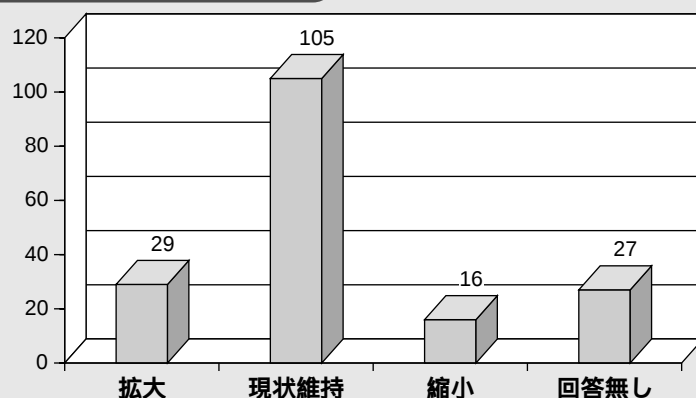
図6-2・事業面における問題点



- 貴組合の今後の事業展開についてお伺いします。

拡大していくが29（16％）、現状維持105（60％）、縮小が16（9％）、回答無し27（15％）となっております。（図7）

図7・組合の今後の事業展開



田辺市で地区懇談会を開催

本会では、10月10日（金）田辺市のガーデンホテルハナヨにおいて、30名余りの方々のご参加をいただき、地区懇談会を開催致しました。

本懇談会は、この厳しい経済環境下において、中央会自身が「変革・再生・自立」をキーワードに、事業運営に取り組みたいという考えのもと、各地区ごとに懇談会を開催し、中央会に対する要望策をお聞きし、組合活性化を図りたいと今年度から開催するものです。

当日は、山下雅生会長からの中央会運営方針についての講演、事務局からの中央会に対するニーズ要望等のアンケート調査報告が行われました。

続いての意見交換会では、活発な情報やご意見を伺うなか、盛会裡に終了しました。



活性化情報編集委員会開催

平成15年度第1回活性化情報編集委員会を、10月21日（火）ホテルグランヴィア和歌山において開催しました。

編集委員5名の方々の出席のもと、「中央会わかやま」の誌面内容について、あらゆる角度からご検討をいただきました。

より新鮮な情報を、より幅広いスケールで会員の皆様方に提供出来るよう、今後とも誌面の充実を図っていききたいと思います。



会員だより

北京で海外展示会 ～和歌山県衣料縫製品工業組合～

2003年9月
17・18・19日
の3日間、中国
北京市におい
て、和歌山県衣
料縫製品工業組
合が“北京展示
会”を開催しま
した。



当組合では中国からの技術研修生を受け入れると共に、急激な国際化への対応に取り組んでいるところですが、日本と中国の繊維関係各社が共に発展・飛躍を遂げることを目指した今回の展示会は中国における第2回目となります。

展示会場では、ファッションショーを開催、斬新な新開発作品を着こなした6名のモデルが次々と登場。

昨年の約7倍の延1500人
の入場者を迎え、更に大き
な成果が得られたようです。



和歌山県
衣料縫製品工業組合
TEL : 073 - 436 - 5660

マリーナシティで第43回公共サイン美術展開催

～和歌山県屋外広告美術協同組合～

近畿屋外広告美術デザインコンクールが、
10月18日（土）～20日（月）和歌山マリ
ーナシティ内のわかやま館において開催され
ました。第43回目の開催となる今年のテー
マは、「紀伊山地の霊場と参詣道」。

平成16年のユネスコ世界遺産登録を目指
して、高野山、熊野三山、吉野・大峰の三大
霊場と参詣道が、素晴らしいデザインパネル
の中に表現され、近畿各府県から応募された
和広美組合員の118作品が会場狭しと展示さ



“ 淡嶋神社で献湯祭 ”

～ 加太観光協会温泉協同組合 ～



10月3日（金） 加太淡嶋神社での秋の大祭「甘酒祭り」で、甘酒と共に温泉「御利益の湯」が供えられ、淡嶋温泉「ひいな湯」では、湯授与祭を開き、一番風呂を目指した多くの人たちがご利益を授かったようです。

「天然温泉の町」を大いにアピールすると共



に、風光明媚な加太の観光資源をさらにバージョンアップし、活性化を図っていかうと意欲も充分です。

11月26日にはゴロ合わせで「いいふる」となるところから、開湯イベントも実施される予定です。

加太観光協会温泉協同組合
加太観光協会内
TEL：073 - 459 - 0003

れました。

20日（月）には、県内外からの多数の来賓出席のもと表彰式が行われ、技量とアイデアの結晶である作品の数々に来場者一同、大いに魅了されたようです。

和歌山県
屋外広告美術協同組合
TEL：073 - 425 - 2573



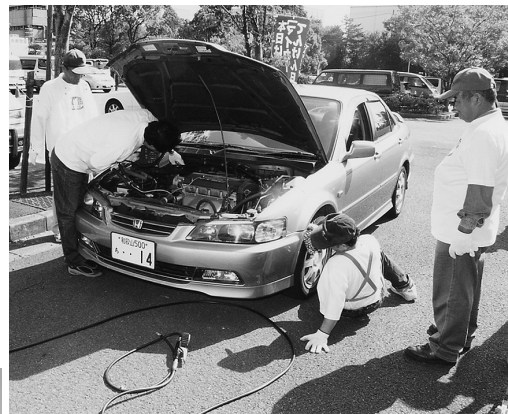
クルマジャンボリーに約2千人が来場！！

10月19日（日）近畿運輸局和歌山運輸支局において、和歌山地区自動車整備協同組合による、「2003 クルマ・ジャンボリー」が開催されました。

会場内の愛車無料点検コーナーでは、プロの整備士が、バッテリーやタイヤ回りなど点検項目について、入念にチェックしていました。

また、ステージでは、キャラクターショーが行われ、その迫真の演技に子供達から大きな歓声が上がっていました。

その他、（社）和歌山県自動車整備振興会による、自動車整備士資格制度のPRのためのこども自動車整備士認定コーナーも設けられ、約2千人の多数の親子連れで賑わっていました。



和歌山地区
自動車整備協同組合
TEL：073 - 422 - 2040
社団法人和歌山県
自動車整備振興会
TEL：073 - 422 - 2466

田辺地区で第10回ふれあい くるま祭り開催！！

10月19日（日）朝来検査場（上富田町）において、田辺自動車整備協同組合による、点検促進イベント「ふれあいくるま祭り」が開催されました。愛車の無料点検や新車の展示

コーナー、お楽しみ抽選会など盛り沢山の内容で、こちらも約1千人の来場者があり、大盛況でした。



田辺自動車整備協同組合
TEL：0739 - 22 - 4732

会員HP紹介

平成14年度の中央会事業により11の会員組合がホームページを開設しました。
このページでは毎月ホームページアドレスとトップページの紹介をしています。

和歌山県自動車整備商工組合

URL <http://www.waspa.or.jp/waseishou/>

〒640-8404

和歌山市湊1106番地

TEL 073-422-2466

FAX 073-422-2107

自動車整備業界を代表する商工組合ならではのホームページで、特にオアシスネットワーク事業の推進、リサイクル部品の利用促進などに力を入れています。

..... 安全なドライブライフを目指して

和整商はオアシス事業場を目指している組合員企業の、便宜を図り、安心且つ円滑に経営を行って頂けるように務め、業界の更なる向上を目指しています。



TOPICS
最新のニュース

▶オアシスネットワーク事業の推進

- ①整備保証書の発行
- ②てんけん交通障害共済保険
- ③24時間レッカーサービス

▶整備商工組合の
リサイクルパーツ★新事業★

自動車リサイクル部品の利用促進に向けて
課題と方策についての報告書まとまる

会員専用パスワードの分からない方はこちら

和歌山県自動車整備商工組合
〒640-8404 和歌山市湊1106番地
電話番号 (073) 422-2466 F A X 番号 (073) 422-2107

Copyright © 2000 Wakayama Automobile Service Promotion Association. All rights reserved.

事業者の皆さまへ 企業合同面談会

- 今回開催する「企業合同面談会」は、求人事業所と求職者が一堂に会して直接コミュニケーションできる個別方式の面談会です。
- 当日は「正社員」と「パートおよび契約社員」それぞれの雇用形態で面談ができます。ぜひ、この機会にご参加下さい。

11月19日(水)

時間 12:45~16:00
会場 新宮地域職業訓練センター

11月26日(水)

時間 12:45~16:00
会場 田辺ガーデンホテルハナヨアリーナ



面談形式 個別ブース方式

主催

和歌山県
和歌山労働局
和歌山県地域労使就職支援機構

参加費用 無料

構成団体

連和和歌山 県経営者協会
県商工会議所連合会
県商工会連合会
県中小企業団体中央会

正社員からパート・契約社員まで即戦力を求めている事業所と求職者が出会える絶好のチャンス!

お問い合わせ 和歌山県地域労使就職支援機構 (厚生労働省委託事業)

〒640-8227 和歌山市西汀丁26 (県経済センター4F) TEL.073-402-2111 FAX.073-425-5086
Eメール roushi.s.s.k@carrot.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.waroushi.jp>

全国の先進組合事例

楽しい・美味しい「お魚のまち、肴町」

八戸市六日町商店街振興組合

- | | | | |
|-------|---|--------|---|
| ●所在地 | 〒030-0033
青森県八戸市大字六日町22番地2
男山ビル3F | ●出資金 | 232万円 |
| ●電話番号 | 0178-46-4650 | ●地区 | 六日町1番地～39番地 |
| ●FAX | 0178-46-4650 | ●主な業種 | 小売業 |
| ●設立 | 平成4年11月 | ●組織形態 | 商店街組合 |
| ●組合員数 | 108人 | ●専従理事 | - |
| | | ●組合専従者 | 1人 |
| | | ●URL | http://www.masakana.jp/ |

販売事業の一環としてのイベントの実施と、大学・自治体との連携による「肴町」にちなんだ商品開発を行い、活性化への道筋をつけることができた。

■背景と目的

当組合は、創立10周年を迎えるが、設立時200人余を数えた組合員が、その後100人前後まで減少していた。その対応策として、任意組合時代から取り組んできたイベントである「ナイトオリエンテーリング」の強化と、長岡造形大学、八戸短期大学や青森県、八戸市との連携による六日町の別称「肴町」にちなんだ各種商品開発を行った。

■取り組みの内容

主な事業は、「ナイトオリエンテーリング」である。六日町は飲食店、スナック等が多いことから、常連客を確保し、参加組合員の経営する飲食店・スナック等の売上増大を図るものである。また、来街者が低価格のチケットを購入し、参加組合員5店を巡るイベントを毎年6月6日に開催している。商品開発事業は、13年度から「はちのへ六日町ものづくりプロジェクト」に取り組んでおり、六日町（旧地名肴町）にちなんだ魚をモチーフ（題材）としたガラス工芸品・生酒・Tシャツ等、7種類の新商品開発を行い、アンテナショップと組合員店で販売している。

■成果

平成14年12月の新幹線八戸駅の開業に向け、六日町のPRとなる産・官・学の連携による商品開発を実施したことで、商店街の新たなイメージが誕生した。現在、アンテナショップと組合員店では「海のささやき」（日本酒）「オリジナルTシャツ」が好評である。また、市民に好評を得ている「ナイトオリエンテーリング」を続けることによって、組合員の常連客の確保にも大きく貢献している。



地場産業の強みを活かし、おが屑のリサイクルに挑戦

日本鉛筆工業協同組合

- | | | | |
|-------|-------------------------------|--------|---|
| ●所在地 | 〒116-0013
東京都荒川区西日暮里2-30-6 | ●地区 | 全国 |
| ●電話番号 | 03-3891-6161 | ●主な業種 | 鉛筆製造業 |
| ●FAX | 03-3802-9692 | ●組織形態 | 産地組合 |
| ●設立 | 昭和24年10月 | ●専従理事 | - |
| ●組合員数 | 40人 | ●組合専従者 | 2人 |
| ●出資金 | 662万円 | ●URL | http://www.pencil.or.jp/ |

鉛筆製造時に発生するおが屑の再利用・再商品化に産地組合が一丸となって取り組んだ。
組合員企業で商品化、実績も出始めている。

■背景と目的

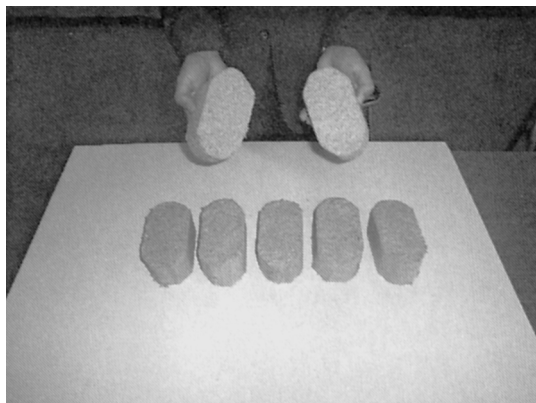
鉛筆製造業は、そのほとんどの工場が東京の葛飾・荒川区に集中している。従来、鉛筆のおが屑は、ワックスを含んでいることから高カロリー燃料として、公衆浴場の燃料に使われてきた。しかし、公衆浴場の減少で、自社で処分しなければならなくなった。各工場は、焼却処分炉を設置して対応してきたが、煙害など環境問題の発生でこの方法も行き詰まり、産業廃棄物として有料で処分せざるを得なくなった。組合として、この問題解決のため、青年部が立ち上がった。

■取り組みの内容

青年部のメンバー21人で処分方法を検討した。製造過程で木の40%がおが屑になることから、ただ処分するのではなく、再利用するための第1歩として、工場外に搬出できるようにすることであった。パウダー状のままでは搬出は難しい。そこでプレスしてブリケットに固めることにした。鉛筆のおが屑は、一般のおが屑より乾燥しているためまとまりにくい。これを接着剤を一切使わずに固める機械を開発することは、困難を極めた。平成11年2月、実用レベルの「鉛筆木くずブリケット製造機」の開発に成功した。現在、組合員企業5社に設置して稼働している。ブロックに固めたおが屑の利用方法については、全国中央会より社会要請対応円滑化支援事業の補助金を受けて検討した。鉛筆の木軸としてリサイクルする方法、建築床材にする方法、生分解プラスチックとして各種プラスチック製品に再生する方法等が検討され、実際の商品開発も試みた。検討過程で潰れたアイデアも多く、現状では、粘土として活用する方法が最も成功している。

■成果

粘土は、組合員企業が開発し、既に「もくねんさん」の商品名で販売されている。加工しやすく、乾くと木のように彫刻もでき、接着もできる。鉛筆と同じ流通ルートに乗せることもできるため、その将来が大いに期待されている。



▲おがブロック

香川県食糧事業協同組合

- 地 区 香川県
- 主 な 業 種 米穀小売業
- 組 織 形 態 同業種網羅型
- 専 従 理 事 2人
- 組 合 専 従 者 34人
- U R L <http://www.kensyoku.or.jp/>

水質浄化装置の開発を異業種組合で！

山口環境事業協同組合

- 所在地 〒747-0809
山口県防府市寿町5番5号
- 電話番号 0835-27-2080
- FAX 0835-27-2081
- 設立 平成14年4月
- 組合員数 5人
- 出資金 65万円

- 地区 山口県
- 主な業種 鋳鉄鋳物製造業、造園工事業、コンクリート製品製造業
- 組織形態 異業種連携組合
- 専従理事 -
- 組合専従者 1人
- URL -

竹・木炭詰め濾過槽を製作し、河川（江川 - 防府市）に3ヵ所設置、浄化能力を測定し、濾過効果が有効であることが立証できた。

■背景と目的

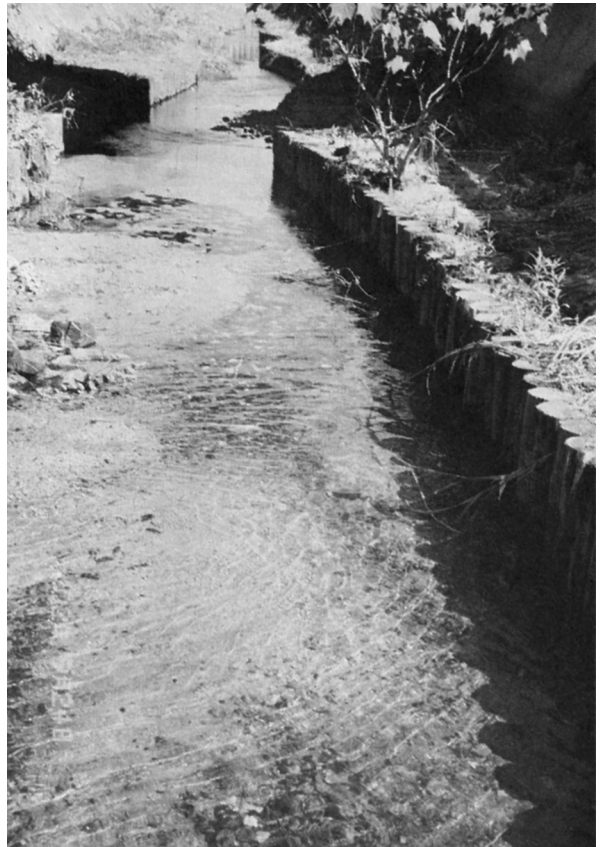
当組合の前身であった任意グループ「蛭朋友の会」を平成12年に結成し、山口県中央会の事業で蛭が生息できる河川を取り戻すべく勉強会を重ねてきた。この活動を更に発展させ、グループメンバーが連携して事業化を図るため、組合を設立した。

■取り組みの内容

組合員企業の技術・ノウハウを結集し、炭素入りの濾過槽・濾過板（コンクリート鑄造の構造物に、木・竹を濾過材として詰め込んだ装置）を開発した。組合では防府市を流れる江川を試験河川として、濾過槽・濾過板を3ヵ所に設置し、浄化試験を行った。資材の提供、施工や設置後の管理は、組合員企業が行った。開発製品の浄化効果を測定するため、（財）山口県予防保健協会に依頼して、水質分析を随時実施するとともに、組合では簡易分析を継続的に行い、その効果を立証した。

■成果

実験の結果、農薬（除草剤）の除去に有効であることが判明した。また、炭素が生活排水以外の有害物質の除去にも有効であり、農林水産業にも広く適用が可能であることが分かった。今後は、濾過槽・濾過板の規格化を図り、商品化を進めるとともに、フィールドの条件に対応した施工・工事マニュアルを作成する予定である。



情報連絡員誌

9月分

D I (ディフュージョンインデックス) 値

D I 値は景気が上向きか下向きかを表す数値です。

D I 値 = 増加(好転)割合 - 減少(悪化)割合

D I 値 > 0 ... 景気上向き

D I 値 = 0 ... 景気横ばい

D I 値 < 0 ... 景気下向き

業界景況 / 前月比

10ポイント改善

前年同月比の景気動向

増加・好転↑ 不変→ 減少・悪化↓

業 種	項 目	売 上 高	収 益 状 況	資 金 繰 り	業 界 景 況
製 造 業	食 料 品	↓	↓	↓	↓
	繊 維 同 製 品	↓	↓	↓	↓
	木 材 木 製 品	↓	↓	↓	↓
	印 刷	↓	↓	↓	↓
	化 学 ゴ ム	→	→	→	↓
	窯 業 土 石 製 品	→	→	→	→
	鉄 鋼 金 属	↑	→	→	↑
	そ の 他	↓	↓	↓	↓
非 製 造 業	卸 売 業	↑	↓	↓	↓
	小 売 業	↓	↓	↓	↓
	商 店 街	↓	↓	↓	↓
	サ ー ビ ス 業	↓	↓	↓	↓
	建 設 業	↓	↓	↓	↓
	運 輸 業	→	↓	↓	↓
D I 値		- 42.5	- 62.5	- 47.5	- 50.0

(情報連絡員40名のうち回答数40名 回答率100%)

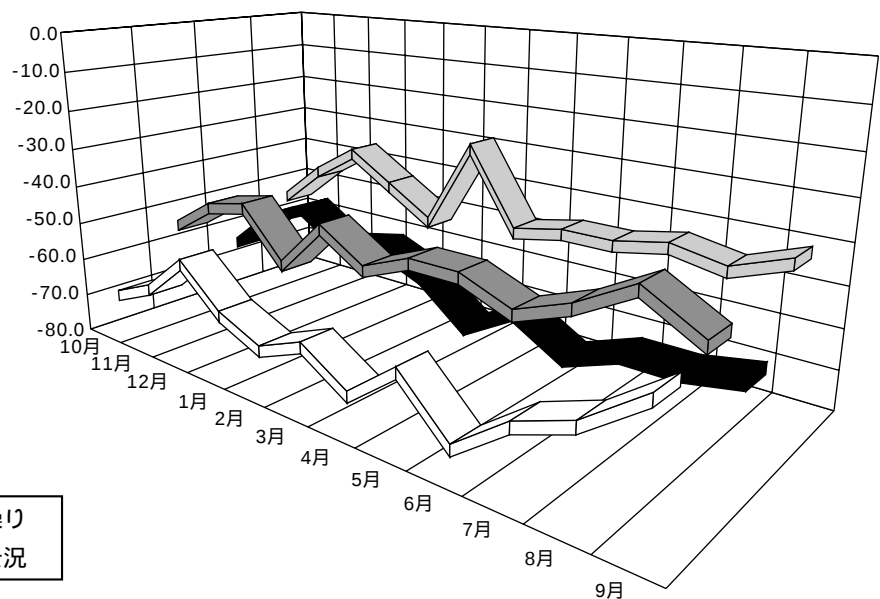
総 評

前年同月比における「業界景況」判断指数(D I 値: 景気動向指数)は、マイナス50.0ポイントであり、同8月調査と比べて10ポイント改善した。

同8月調査と比べ、「売上高」は5ポイント改善、「収益状況」は2.5ポイント改善、「資金繰り」は7.5ポイント悪化した。

9月の調査では業界景況に関して、情報連絡員40名のうち、「不変」との回答は12名、「悪化」との回答は24名で、「好転」との回答は4名であった。

年間D I 値
(前年同月比)
の推移



■ 売上高 ■ 資金繰り
■ 収益状況 □ 業界景況

● 製造業 ●

食 料 品	大幅な原料価格アップに伴う商品価格転嫁について、東奔西走するも交渉は厳しく、苦勞しているのが現状です。又、荷動きも不活発で、見通しは非常に厳しい。10月上～中旬に組合員への定期計量器検査、11月上旬に海外視察研修、11月下旬に田辺・南部両組合で公害対策等合同研修会を実施予定。(梅干)
織 維・同 製 品	8月末から9月にかけての異常な残暑により、秋物販売が出遅れたため、先行き生産に不安が出てきている。又、昨年は少し落ち着いていた衣料品輸入も今年度再び増加に転じ、国内市場を圧迫している。(ニット) 引き続き動きが鈍いようである。(織物)
木 材・木 製 品	マンション等のドア類に多少動きの兆しが出てきているが、忙しい企業と暇な企業との二極分化が予想される。(建具) 受注から納品まで、短期間の傾向にあります。(建具) 10～11月の見本市、展示会への出品物(新製品)を製作中。(家具)
化 学 ゴ ム	生産量、売上額共に回復しない。(化成品)
鉄 鋼・金 属	原材料、副資材の高騰が続き、困っている。(鋳物)

● 非製造業 ●

小 売 業	冷夏ということで早目に秋物にシフトしたところ、残暑厳しく彼岸頃まで続いたため、思惑が違った。(和歌山市) 地方の消費はますます悪い感じです。タイガース景気も田辺までではなく、少々秋風が吹けば良い風も来るかと思っていますが、今のところ良い傾向が見えてきません。(田辺市)
サ ー ビ ス 業	物事を改革する時、既成概念を打ち破らないと改革は出来ません。これからの観光客の誘致課題は、外国人旅行者をターゲットに積極的に誘致するにあたり、各オーナーは総論賛成ですが、各論になると腰が引ける状態では誘致合戦に負ける。(旅館) 対前年同月比で、宿泊人員(106.6%)、総売上料金(100.7%)、1人当たり消費単価(94.4%)、総宿泊料金(103.1%)、1人当たり宿泊単価(96.2%)。1～9月の宿泊人員で見ると、14年は793,743人、15年は812,091人で18,348人の増(+2.3%)である。(白浜旅館) 軽自動車も新型車が各メーカー出揃い、受注が多少上がってきました。受注があっても現車が来ないと登録が出来ない。登録が出来ないと実際の売上にならない。人気車種ほど何ヶ月も待たねばならない。地方は特にメーカーからの新車の配給率が悪く、後回し傾向となり厳しいものです。当組合では組合青年部が中心となり、10月19日に恒例の第10回「ふれあいくるま祭り」のイベント(車両の無料点検、催し物等)を計画しています。(田辺自動車)

和歌山県中小企業団体中央会

普通傷害保險団体契約

体 契 約

毎月20日締切、
翌月1日補償開始



和歌山県中小企業団体中央会

引受保険会社

東京海上火災保険株式会社

☎ 073-431-1109

株式会社 損害保険ジャパン

☎ 073-433-0591

- マキシムR（逡増定期保険）
損金で落としながら有退時の役員退職金の準備が出来ます
- 総合保障プラン
集団割引なのでどこよりも安い掛金で、高額保障・高額医療保障
- 年金共済（拠出型企業年金保険）
高齢化社会に備え、老後生活資金が準備できま
す（個人年金保険料控除適用可）
- 特定退職金共済制度
大企業なみの退職金制度の確立で、優秀な人材
の確保を

共済受託会社

三井生命保険相互会社

和歌山支社 和歌山市北汀丁7番地

TEL 073 - 431 - 5231

F A X 073 - 423 - 7017

 和歌山県火災共済協同組合

◎より安い掛け金!

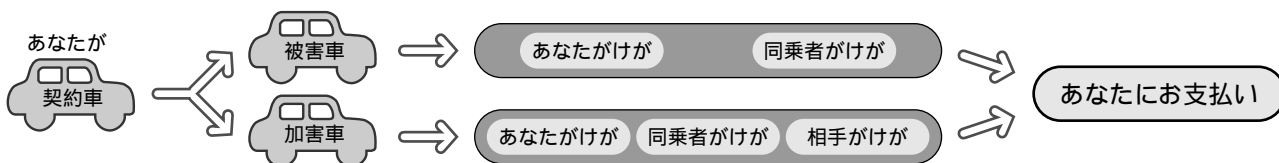
◎より早い支払い!

◎より簡単な手続き!

和歌山県中小企業共済協同組合

契約者を救う他に類のない共済制度です。

強制保険 } とは全く関係なく全て契約者（加害者・被害者）に支払われます。
任意保険



問合先・和歌山市西汀丁26番地 TEL(073)431-3288(代)